

中期計画

(2019～2021)

関西学院幼稚園

責任者名: 関西学院幼稚園園長

各学校での承認

2019年10月11日 教師会

2019年12月 3日 教師会

2020年 3月 9日 教師会

2020年 8月31日 教師会

2021年 3月 9日 教師会

【3年間の運営方針】	【3年後のありたい状態】
<p>1. 教育の方針、人材育成（箇条書きもしくは文章で）</p> <p>・教育方針 一人ひとりの子どもが、神さまと人に愛され、安心と信頼関係の中で喜びをもって生き、主体的に社会的に遊び、生活から、愛されている自分を感じ、生涯にわたる生き方の基礎を培い、私が私になっていくことを支える保育を実践し、キリスト教主義に基づく全人教育を行う</p> <p>幼稚園では“Mastery for Service”を体現する世界市民に育つよう、心の教育を大切する</p> <ul style="list-style-type: none">・一人ひとりを大切に・友だちと共に・やってみたい、知りたい・神さまの恵みを知り感謝する・自分で考えて、行動する・外遊びの充実・喜びをもって、主体的に、共に <p>・人材育成</p> <ul style="list-style-type: none">・保育の振り返り(全体・学年・個人)・チーム保育のなかで他の教諭から学ぶ・研究課題、自己課題を見つけて取り組む・園内研修の充実・研修会への参加	<p>(箇条書きもしくは文章で)</p> <p>・教育方針</p> <ul style="list-style-type: none">・教育方針からぶれることのない、質の高いキリスト教主義に基づく保育の実践 <p>・人材育成</p> <ul style="list-style-type: none">・質の高いキリスト教主義に基づく保育実践のできる保育者の確保・研究的実践者の育成・学会で研究発表
<p>2. 志願者獲得の方針</p> <ul style="list-style-type: none">・幼児教育無償化への対応・保育方針・内容の理解 保護者、社会のニーズを把握しながらも本園のキリスト教主義に基づく保育を理解していただくようにする・園の様子を発信	<ul style="list-style-type: none">・計220名の園児数を確保する
<p>3. 中期的な課題</p> <ul style="list-style-type: none">・キリスト教主義に基づく保育の質向上、保育カリキュラムの見直し・志願者数の獲得・保育環境の整備、充実・保護者との連携・保育者の確保・保育者の育成・保育終了後の預かり保育を利用する保護者が増えること。	

【重点施策】	【中期総合経営計画 実施計画】として取り組むものに○
①総合学園の「見える化」と関西学院アイデンティティの浸透	○
②幼児教育無償化への対応、志願者数の獲得	
③質の高いキリスト教主義に基づく保育の実践、キリスト教主義に基づく保育質向上のための研究	
④保育環境の整備、充実	
⑤保護者との連携	

【3年間の取り組み状況(中期計画)を測る指標】

①スクールモットーの認知度・共感度、②3歳児の志願者数、③-1 キリスト教主義教育の実践度、③-2 キリスト教保育質向上、④保育環境の整備充実、⑤保護者との連携(満足度)

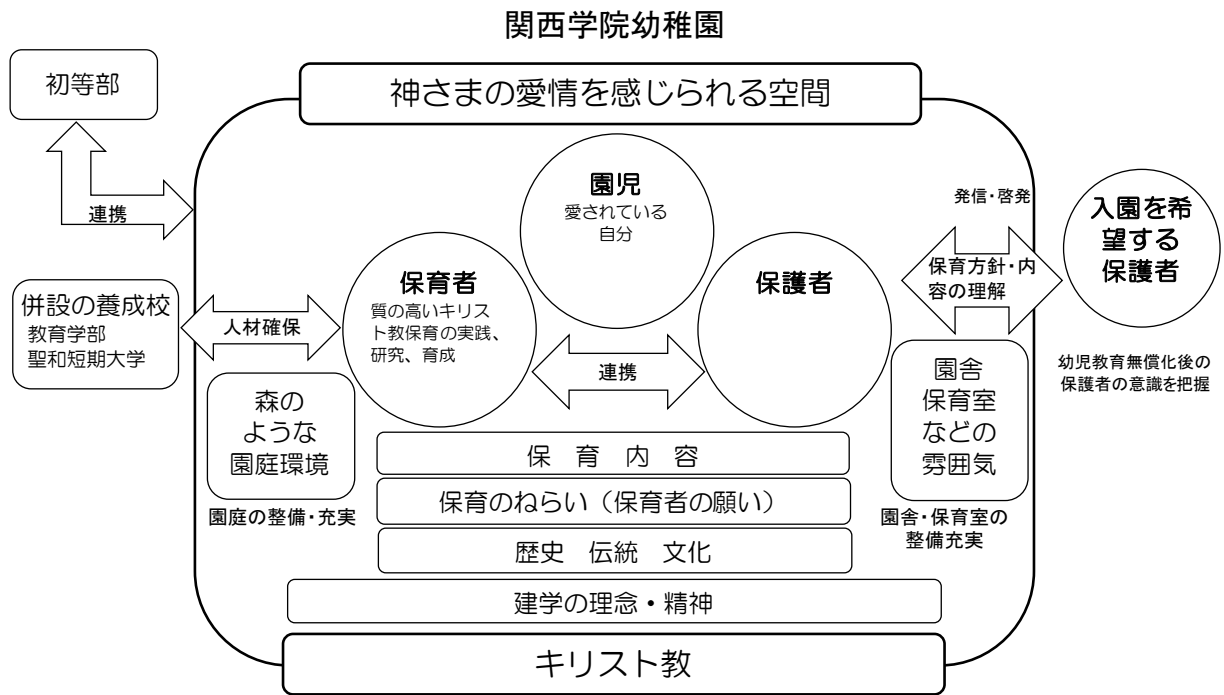
【目標や実績を踏まえた次年度に向けた展望】(2020年9月時点)

2019年10月から実施された幼児教育無償化後の幼児教育・幼稚園に対する保護者の動向をしっかりと把握する。また、新型コロナウイルス感染症の対応を保護者がどのように受け止めたかを分析し、園児募集に反映させていく。

キリスト教主義教育、保育の質向上と保育者の人材育成は共に関係している。保育課題を具体的に挙げ、保育者全員が園内研修で取り組み、また、保育者が個人の研究テーマを決め、実践研究、発表し、他の保育者と共有することで、キリスト教保育の質の向上、保育者の人材育成につなげていきたい。新型コロナウイルス感染症の影響で、研修会参加が難しいため、園内研修をより充実させる。

新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者とのコミュニケーション、連携が難しくなっている。どのような方法があるのか模索しながら対応する。保護者との連携は、園での子どもたちの様子をできるだけ見える化し伝えることで、保護者と共に子どもたちの育ちを考えていきたい。

【取り組みの全体像】



以上